

事業計画書【記載例】

1. 利用者の現在の状況

現在、鹿沼市〇〇町の借家（50 ㎡）に家族3人で10年暮らしている。
家族構成は、申出者本人・本人の夫・本人の子。

2. 事業の緊急性について

県道〇〇号線の歩道拡幅工事により、現在の借家に住めなくなるため、新たな住まいを求めることが急務となった。（●月までに退去）

3. 土地の選定理由

子の学区を変更しないため現在の住まいと同地区であること、300㎡程度の広さがあること、都市計画法の許可見込みがあること等の条件を全て満たすため、当該申出地を選定した。

4. 土地利用計画（取水・排水の方法について必ず記載すること。）

- ・ 建設計画 木造2階建 ●㎡
- ・ 造成計画 盛土
- ・ 取水方法 上水道
- ・ 排水方法 污水排水は合併浄化槽を設置し宅内処理、雨水排水は敷地内自然浸透
- ・ 接 道 北側 市〇〇号線

5. 資金計画

収入			支出			
〇〇円			〇〇円			
内 訳	自己資金	〇〇	内 訳	用地取得費	〇〇	事務費
	借入金	〇〇		造成費	〇〇	その他
	その他			建物等建築費	〇〇	
				付帯事務費	〇〇	

6. 周辺農地への被害防除対策について

- ・ 隣地との境界には擁壁等の仕切りを設置し、土砂・雨水の流出を防ぐ。
- ・ 隣地の日照時間への影響を考慮し、〇〇側に建物を配置する。

7. 他法令の調整状況（各部署の担当者名も記載すること。）

- （1）農地法 〇月〇日 【担当者名】と協議済み。農地法5条許可見込みあり。
- （2）都計法 〇月〇日 【担当者名】と協議済み。都計法34条第14号に該当し許可見込みあり。
- （3）その他 ※埋蔵文化財など

8. 特記事項

※「このような書き方であれば除外が認められる」ということはありません。